

大阪府立高等学校における 通級による指導に関するQ&A

Q. どのような生徒が通級の対象となりますか？



本人・保護者の希望や、学校生活での実態把握をとおして、通級の対象となるかを判断します。通級のための入学者選抜はありません。また、中学校等での通級の経験や、医療機関等の診断の有無は問いません。

Q. どのように単位が認定されますか？



実施校において、「個別の指導計画」に定めた目標が達成できたと学校長が判断した場合に単位の認定を行います。

Q. 教科の内容を個別に指導してもらえるのですか？



「通級」は単なる各教科の遅れを補充するものではありません。ただし、通級を効果的に進めるために、特に必要があるときは教科の内容を取り扱いながら行うことがあります。

Q. 通級を受けることが、進学や就職に不利になることはありますか？



不利になることはありません。通級により、自己の特性を理解するとともに、学習上・生活上の困難について対処法を知ることで、進学先や就職先で必要となる力や、必要な支援や配慮を依頼する力を身につけることができます。

通級 による指導

こんな自分になりたい！

先を見通したスケジュール管理ができるようになりたい。

人と上手にコミュニケーションがとれるようになりたい。

文字を読んだり書いたりすることの困りを改善したい。

困ったときに誰かに相談できるようになりたい。

聞こえにくさや見えにくさの困りを少なくして、日常生活を過ごしやすいようにしたい。



通級による指導って？

通常の学級に在籍している障がいのある生徒に対して、各教科等の大部分の授業を通常の学級で行いながら、一部の授業について当該生徒の障がいに応じた特別の指導を特別の場で行う指導形態のことです。

大阪府立高等学校における通級による指導は、発達障がいや、その特性のある生徒を対象としています。

*本リーフレットにおいては、「通級による指導」について、読みやすさの観点から「通級」と表記しています。

通級指導実施校は
コチラ



1

通級の利用の決定から終了までの流れ



2

通級の時間帯について



通級を高等学校の教育課程に加え、又は選択教科・科目の一部に替える*ことができます。また、これらの指導に係る修得単位数は、年間7単位まで卒業認定単位に含めることができます。

*授業によっては通級に替えることができないものもありますので、在籍校の先生と相談してください。

時間割の例

■ クラスの授業の一部に替える場合

	月	火	水	木	金
1	コミュニケーション英語Ⅰ	体育	家庭基礎	公共	選択E
2	生物基礎	地理総合	現代の国語	情報Ⅰ	選択E
3	選択A	現代の国語	保健	選択D	体育
4	選択A	生物基礎	コミュニケーション英語Ⅰ	選択D	家庭基礎
5	公共	通級	選択C	総合的な探究の時間	コミュニケーション英語Ⅰ
6	情報Ⅰ	通級	選択C	LHR	地理総合

■ 放課後等に加える場合(放課後)

	月	火	水	木	金
放課後	通級	課外	課外	課外	通級

■ 長期休業期間

- 月○日 3,4限 通級
- 月○日 1,2限 通級



3

学習内容 生徒一人ひとりに応じたオーダーメイドの指導



行動の優先順位とスケジュール管理の意識づけ

困り事

- 勉強や部活動などのスケジュールが重なると生活リズムが乱れて体調を崩してしまうことが多い。



学習目標

- 物事の優先順位を意識する。
- スケジュールの管理方法を知る。



学習内容

- 1日の行動を「見える化」して、やるべきことの優先順位を意識して予定を組むことができる。
- 様々なスケジュール管理のツールを試し、自分に一番合っている方法を見つける。

困ったときに周りにヘルプメッセージを発信

困り事

- 困ったときに周りに頼ることができず、一人で抱えてしまい、気持ちが落ち着かない。



学習目標

- 自分が困ったときに、どうすれば落ち着いて行動することができるのかを知る。
- 周りに自分が困っていることを伝える方法を知る。



学習内容

- 様々な場面を想定して、その場で気持ちを落ち着かせる方法を考える。
- 困っていることを相手に伝える方法を考え、それをグループワークなどで試してみる。

その他の学習内容の例 / Other Examples

- 自分も相手も大事にする気持ちの伝え方を学ぶ。
 - 持ち物の管理、整理整頓スキルを身につける。
 - 日常生活や作業におけるスムーズな動作を身につける。
 - 自分の見え方、聞こえ方などに合った効果的な学習のしかたを知る。
 - 他者とのコミュニケーションの取り方やトラブルの対処法についてグループワークなどの実践で学ぶ。
 - 感情が抑えられなくなるタイミングを知り、気持ちをコントロールするための具体的な方法を身につける。
 - 日々の生活場面を振り返り、そのときの気持ちを言葉やイラスト、映像等を活用しながら表現する。
- etc...

期待できる効果 / Expected Effects

○指導を受けた生徒の感想



週に1度、スケジュール帳を使いながら予定の立てかたをトレーニングして、課題の提出を忘れにくくなった。

☆☆☆



小さなことにイライラしたり、周りの人の意見を一切受け入れられないことがあったけど、そんなときにどうしたら落ち着けるかなどを先生と一緒に考えられた。

☆☆☆



思ったとおりに言葉を選べなくて、人と話すことに不安があったけれど通級でコミュニケーションの練習をしたら、もっと人と話してみようと思った。

☆☆☆

